



Title	『北方言語研究』の再出発にあたって
Author(s)	呉人, 恵
Citation	北方言語研究, 9
Issue Date	2019-03-15
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/73732
Type	editorial
File Information	00_aisatsu.pdf



『北方言語研究』の再出発にあたって

このたび、これまで8回の刊行を重ねてきた『北方言語研究』が生まれ変わりました。2018年12月8日に日本北方言語学会が設立されたことを機に、学会誌として再出発することになったのです。名称はそのまま継承されますが、内容には重要な変更があります。

それは、英文での投稿が可能になったことです。これには大きく2つの理由があります。

第一に、学会設立を機に、日本における北方言語研究をより広く世界に向けて発信していきたいと考えたためです。現在、北東アジアから北米にかけての環北太平洋域では、日本人研究者によって約30の言語の調査研究が進められています。地理的・物理的に必ずしも恵まれた調査環境とはいえないこの地域に、これほど多くの日本人が入り、地道に調査を続けてきたこと、言語間の系統的・類型的関係の解明に向けて、すでに多くの記述研究の蓄積があることは、もっと世界に知っていただいていたいいはずです。

第二に、北米諸言語研究者が投稿しやすい環境作りを考えたためです。これまでも『北方言語研究』は北東アジア・北米両地域に開かれていました。しかしながら、実際には、北東アジア関連の投稿が大多数を占め、北米関連の投稿は数えるほどしかないという状況でした。これは、そもそも北米諸言語研究者の数が少ないことに加え、アメリカ人研究者が多数を占めるこの地域では、英文での成果発信を優先せざるをえないという事情があったためです。

以上のわれわれの想いは、再出発となる本号で、2本の英語論文（アイヌ語）と1本の英語テキスト（北米セイリッシュ語）の掲載という形で、早くも具現化されることになりました。多様な原稿への編集対応や査読体制など、整備・改善すべき点はいまだ多々ありますが、一步一步、国際学術誌の名に恥じない高みを目指していく所存です。

会員の皆様、また、本誌を手にとってくださる読者の皆様、ご支援ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

2019年2月28日

日本北方言語学会

会長 呉 人 恵

本誌は平成30（2018）年度科学研究費補助金（基盤B）「北方危機諸言語の形成プロセスの解明に向けたネットワーク強化」（代表：呉人 恵、課題番号：18H00665）による研究成果の一部である。